

救急そ生法を身に付けよう

新城高の
1年生

AEDの使い方学ぶ

新城高校で17日、恒例の「AED(自動体外式除細動器)講習会」が行われ、1年生16

0人が救急そ生法を学んだ。同高では、在学中に必ず一回以上体験してもらおうと、毎年1年生を対象に実施している。

講師は、豊橋ハート

センターの臨床工芸技

士で救急そ生教室AED担当・杉浦武治さん。新城市消防署職員5人もサポートに当たり、ダミー人形52台を使って救命技術の取得に励んだ。

生徒たちは4人1組になり、心肺そ生法とAEDの正しい使用方法を教わった。特に心臓マッサージの重要性が指摘され、呼吸がない場合はすぐに行うことや、AEDとの組み合わせで救急隊員が来るまで続けるよう教わった。

(杉森秀房)



救急そ生法を学ぶ生徒たち―新城高で